



3/1 市内避難被災者に役立てて (市役所)

県建設労働組合高梁支部(東利雄会長)から、東日本大震災により市内で避難生活を送る被災者を支援するため、義援金と米120*の目録が市に寄贈されました。

避難生活を送る被災者が、高梁で安心して過ごせるように少しでも役立てればと、昨年6月から組合員に義援金を募ったもので、米は、被災者の要望により、精米し提供することになっています。

3/1 消防団協力事業所認定 (消防本部)

地域防災体制がより一層充実することを目指し、従業員の消防活動参加に協力している事業所を初認定し、表示証の交付を行いました。

【消防団協力事業所】

- ・ 中村建設(横町)
- ・ 武田鑄造高梁工場(巨瀬町)
- ・ 丸五シーエス工業(有漢町上有漢)
- ・ 住友電工焼結合金(成羽町成羽)
- ・ 三美産業(川上町三沢)



3/3 郷土の歴史と伝統を学ぶ (備中松山城)

市の歴史と伝統を学ぶ「高梁歴史いろは塾」(市主催)が、城下町高梁のシンボルである備中松山城で開催されました。

昨年8月から毎月開催している塾で、今回が最終回。備中松山城と城下町、銅とベンガラで栄えた吹屋、備中神楽や渡り拍子の伝統芸能など、歴史と伝統が息づく郷土高梁について、地域で実際に活動してる人などを講師に迎え分かりやすく学びました。



まちの出来事

2/19 サッカーって楽しい (神原スポーツ公園)

サッカーJ2「ファジアーノ岡山」のコーチ5人を招いた実技講習会が開催され、市内のクラブチームの選手や小学生ら約100人が参加しました。

コーチからボールキープやシュートの仕方などサッカーの技術を学んだ後、グループに分かれてミニゲーム。人工芝のグラウンドで懸命にボールを追いかけて、サッカーの魅力を味わっていました。



2/19 力強い歌声を響かせて (文化交流館)

若者らに音楽発表の場を提供しようと始まった「サウンドフェスティバル2012 in たかはし」(市教育委員会主催)が開催され、市内や新見市などから8組のグループが日頃の練習成果を発表しました。

アマチュアバンドがプロのカバーやオリジナル曲などを力強い歌声を披露。家族や友人ら約100人は、演奏を楽しんでいました。



2/25 ずっと元気ではつらつ (文化交流館)

「第2回我が家ではつらつ研修大会」(同大会実行委員会主催)が開催され、約300人が参加し、健康づくりの大切さを学びました。

健康・体力チェック、ヨガ・エアロビクス体験、市街地歴史ウォーキングなどを楽しみながら体験。食をテーマにした「食のひろば」では、食事バランスのチェックや市内中学生・高校生による展示などがあり、食生活の情報を提供していました。



編集後記

先日の備中町、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。

備中町は、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。

備中町は、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。

備中町は、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。

備中町は、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。

備中町は、雪が降り、春はまだ遠く、花も咲かずに、寒いまま、東北の被災地を訪問し、復興の進捗を確認しました。